

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

澄みかがやいた秋の空を 思い浮かべながら 季節の変わりゆく時を待つ

工藤篤子賛美コンサート

10/27(日) 15:00～16:30

今年も、木管楽器のような、やわらかく深みのある工藤篤子さんの歌声を、野田常喜さんのピアノでお楽しみください。



工藤篤子
(地中海ソプラノ)



野田常喜
(ピアノ)

田中恵子トークコンサート

11/17(日) 15:00～16:30

素敵なピアノ演奏の合間に楽しいトークを交えた、心と和むコンサートです。お友達と一緒でも、お一人でも楽しんでいただけます。



田中恵子 (ピアノ)
神戸市在住。神戸山手女子高校音楽科、同短期大学、専攻科ピアノ専攻卒。音楽工房GraceK&Kを主宰。神戸中央教会会員・同オルガニスト。関西聖書神学校器楽実習講師。更生就労支援講師。

どちらのコンサートも、入場無料です。ホームページからライブ配信もご視聴いただけます。

キリストを現代に伝える人たち ～杉原千畝ちうね～

以前、ヨーロッパの国で、「あなたの知っている日本人は？」と街頭インタビューするテレビ番組を見たことがあります。当時活躍していたスポーツ選手、映画監督、作家など、様々な名前が挙がった中に、この名前を出す人が何人もいました。それが今回ご紹介する、杉原千畝です。

杉原千畝(1900-1986)は、第二次世界大戦下のリトアニアで、領事館員として赴任していました。1940年7月、ナチス・ドイツ占領下のポーランドにおける「ユダヤ人狩り」から逃れ、おびただし数のユダヤ人難民が日本領事館へ押し寄せました。行き場のなくなった彼らの有様を目の当たりにしたとき、若い頃に洗礼を受けてクリスチャンとなっていた杉原の心に、聖書の言葉



が迫ってきました。「あなたの心を主の前に、水のように注ぎ出せ。あなたの幼子たちのいのちのために、主に向かって両手を上げよ。彼らは街頭のいたるところで、飢えのために衰えきって

いる」。彼は、この人々のために日本の通過ビザを発給しようと決断しました。この彼の行動に対して、日本政府は懸念を示し、やがて叱責の電報も届くようになりました。それでも彼は、自らの決意と、聖書の言葉に基づいた信仰によって、ビザ発給を続けました。正確な記録は残っていませんが、杉原の書いたビザは二千数百枚、それによって助かったユダヤ人は、子どもも含めて六千人にも上ると言われています。

はるか昔に書かれた聖書ですが、その言葉がこうして信仰に結びつき、一人の人の心を動かし、さらに多くの人の命を救ったのです。

● 幼子祝福式

今年5月に誕生した双子の赤ちゃんの祝福式が、礼拝中に行われました。ご両親に連れてこられた赤ちゃんに会場の皆さんは感嘆の声。空気が和んだ素晴らしい祝福式になりました。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

インターネットでも
配信中



教会HP



礼拝動画



希望のダイヤル

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



神はわれらの避け所

私たちの周りには、いろいろな思いがけない出来事が起こってきます。政治の世界も経済界も教育界も、混迷を極めていて、私たちの生活に陰を落としています。とくに頻発する地震や大雨によって、多くの人々に甚大な痛みが加えられています。

これから先、いったい何が起こるのかわからない、不安な時代です。世の中は決して明るい方には向かっていません。世の終わりが近いことを、より強く感じます。

聖書にこうあります。「神は、われらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある強き助け。それゆえ、われらは恐れない。たとえ地が変わり、山々が揺れ、海のただ中に移るとも。たとえその水が立ち騒ぎ、泡立っても、その水かさが増し、山々が揺れ動いても。」(詩篇46篇1～3節)

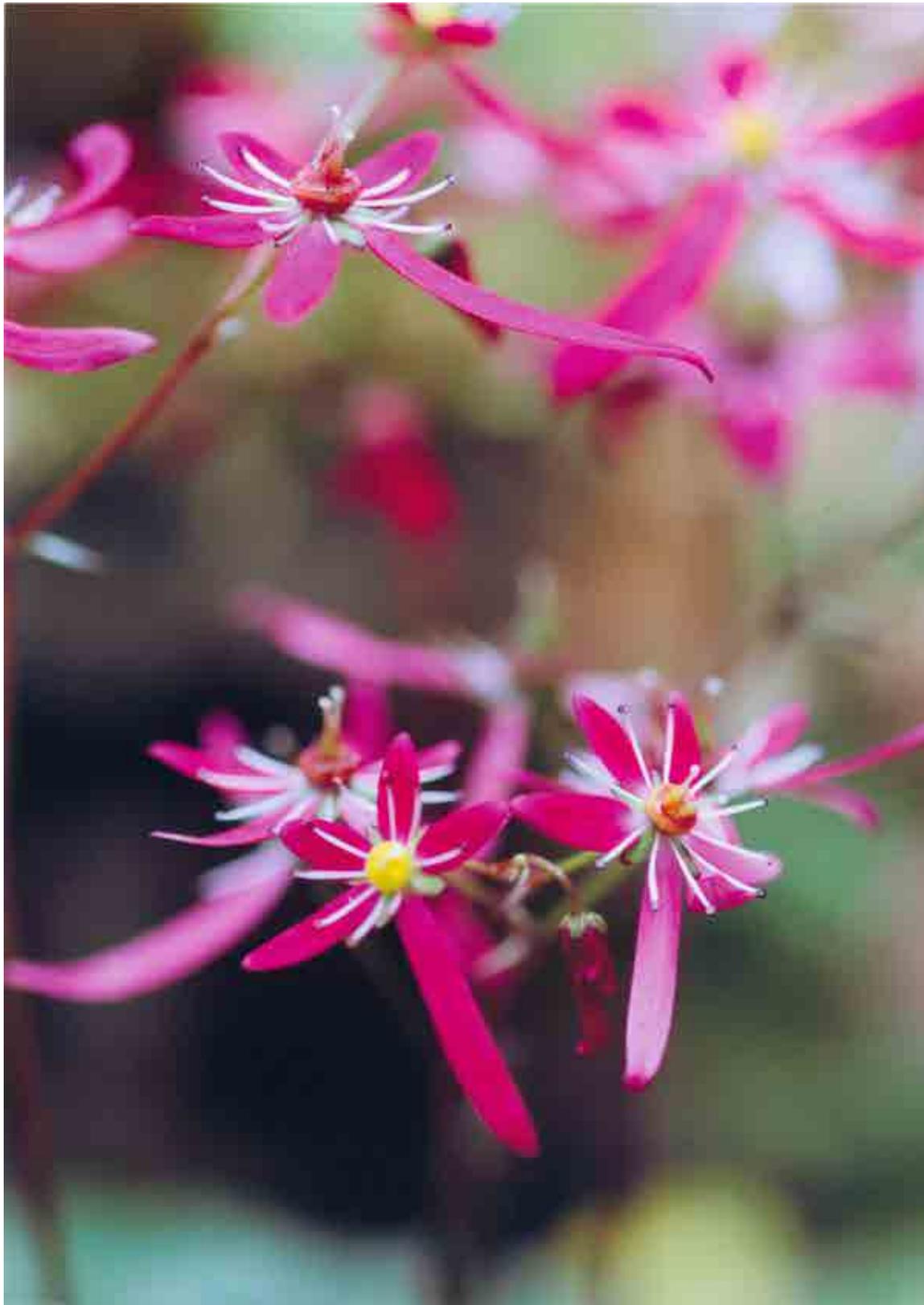
なんとも頼もしい言葉ではありませんか。私たちの人生には、根底から揺るがされるような困難や試練がやってくる場合があります。時には大きな痛みを覚えなければなりません。しかし、どんな事が起ころうとも、「われらは恐れない」と言えるよう

な不動の平安を持つことができるのです。それは、私たちの避け所であるキリストを知ることに依ります。

たとえ何が起ころうとも、うろたえたり、押し潰されたりしない、揺るがない平安を持つことができるなら、どんなに幸いでしょう。これを与えてくださるのが、私たちの罪のために十字架にかかり、よみがえられて、私たちの避け所となってくださったキリストです。

本当に恐れるべきものは、私たち全ての者が神の前に立たせられる終わりの日です。罪を持ったままでは、私たちは滅びです。キリストを信じて、罪が赦されるならば、滅びから免れ、永遠のいのちが与えられて、終わりの日に、喜びをもって神の前に立つことができるのです。そのようにしてくださるのがキリストです。あなたもぜひこのキリストを知ってください。

終わりの日は確実に近づいています。そのための備えは出来ておられるでしょうか。本当の備えは、シェルターを造ったり、非常食・日用品などを備蓄したりすることよりも、まずキリストによる救いをいただくことなのです。



「ダイヤモンドソウ」－ 秋の山野草 －

ダイヤモンドソウは 花の少ない秋に咲く花で
ユキノシタ科の植物である
もともと アジアの山岳地帯で見られる花である
北海道から九州にかけて 日本の各地に幅広く分布している
その多くは 山地の川沿いの岩場や 岩壁に生える多年草だ
直射日光を嫌うかのように 比較的日陰で生育する

花弁は細く 5枚である
上の3枚に対して 下の2枚の花弁は 細長くなっている
このため 花の形が漢字の「大」に見える
それで「大文字草」と名前がついているのだ

野生種は白い花で 小さく
少し雨が降ると うつむきかげんになっている

今でこそ 改良が進んで 多彩な花色や花の形が
増えてきたダイヤモンドソウ

「真実」という花言葉を見つけて 嬉しく思った
この言葉は 忍耐強さや 真実に対する誓いを表している
花の形と花びらの繊細さは 真実と忠誠につながっている

主よ あなたの慈しみは 天に

あなたの真実は 大空に満ちている